

CRAFFT スクリーニングインタビュー

はじめに：お尋ねする質問はすべての患者さんにお聞きしているものです。できるだけ正直に教えてください。お答えいただいた内容は守秘義務によって守られます。

パート A

過去 12 ヶ月についてお尋ねします。あなたは、 いいえ はい

- | | | |
|---|--------------------------|--------------------------|
| 1. <u>アルコール</u> を飲みましたか（三口以上）？
(家族でいる時や宗教関連のイベントで二口、三口アルコールを飲んだ事では含まれない。) | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 2. <u>マリファナ</u> や <u>ハシシ</u> を吸いましたか？ | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 3. <u>ハイになるために何か他のもの</u> を使用したことはありますか？
(「何か他のもの」とは違法薬物、薬局で買える薬物、処方箋が必要な薬物、 嗅いだり、「吸ったり」するものを含みます。) | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

病院関係者のみ:患者は パート A での質問事項に「はい」と答えていましたか？

いいえ

はい

↓
車に関する質問のみを尋ね、終了してください。

↓
CRAFFT の質問 6 項目をにすべて尋ねてください。

パート B

- | | | |
|--|--------------------------|--------------------------|
| 1. これまでに薬物やアルコールを使用し、また「ハイ」になっている誰か（自分自身を含め）が運転する <u>車</u> に乗ったことはありますか？ | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 2. これまで <u>リラックス</u> するためや、気分を良くするため、または周りに合わせるためという理由で、薬物やアルコールを使用したことはありますか？ | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 3. 一人でいるとき、 <u>または自分一人で</u> アルコールや薬物を使用したことはありますか？ | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 4. これまでアルコールや薬物を使用している間に自分が何をしたか <u>忘れてしまった</u> ことはありますか？ | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 5. <u>家族</u> や <u>友達</u> から、アルコールや薬物の量を減らすように言われた事がありますか？ | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 6. アルコールや薬を使用している時に、何か <u>トラブル</u> に巻き込まれたことはありますか？ | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

守秘義務事項:

この用紙に記入された情報は特別連邦守秘義務規則(42 CFR Part 2)によって守られます。その結果これらの情報は特別な書面による合意なしの公開を禁じられています。一般的な医療関係の情報公開手続きでは、この条件を満たしません。

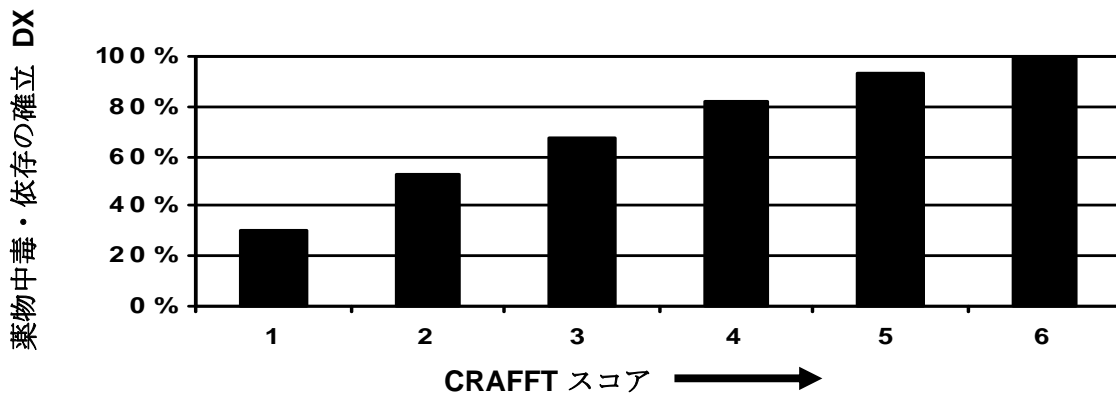
© CHILDREN'S HOSPITAL BOSTON, 2009. 不許複製

センター・フォー・アドレッセント・サブスタンス・アビューズ・リサーチ (CeASAR) とチルドレンズ・ホスピタル・ボストン(Children's Hospital Boston)の許可を得て複製しています。 (www.ceasar.org)

点数（スコア）評価の仕方：病院関係者のみ

CRAFFT スコア法: パート B の「はい」の回答は各 1 点とする。合計点が 2 またはそれ以上はスクリーニング陽性とし、更なるアセスメントを必要とする事を示す。

CRAFFT スコアに基づく薬物中毒・依存診断の確率^{1,2}



DSM-IV 診断評価基準³ (省略されています)

薬物中毒 (次の内 1 つまたはそれ以上があてはまる):

- 薬物使用が原因で 仕事場・学校・家での責務を果たせない。
- 危険な状況での再乱用 (例えば、運転中など)
- 法律に関わる問題を繰り返し起こす。
- 再乱用により問題を引き起こした後も使用を続ける。

薬物依存 (次の内 3 つまたはそれ以上があてはまる):

- 耐性の形成
- 離脱状態
- 自分で想定していたより大量または長期にわたる薬物使用。
- 何度も使用量を減らすまたはやめようとしたが失敗した。
- 薬物入手、または薬物の作用から回復するのに長時間を要する。
- 薬物のために大切なことを断念する。
- 薬物使用により危険な状態や問題を引き起こしたにも関わらず使用を続ける。

© Children's Hospital Boston, 2009. センター・フォー・アドレッセント・サブスタンス・アビューズ・リサーチ (Center for Adolescent Substance Abuse Research) とチルドレンズホスピタル・ボストン (Children's Hospital Boston) の許可により、この用紙は医療関係の使用に限り複製されることがあります。300 Longwood Ave, Boston, MA 02115, U. S. A., (617) 355-5433, www.ceasar.org.

文献:

1. Knight JR, Shrier LA, Bravender TD, Farrell M, Vander Bilt J, Shaffer HJ. A new brief screen for adolescent substance abuse. Arch Pediatr Adolesc Med 1999;153(6):591-6.
2. Knight JR, Sherritt L, Shrier LA, Harris SK, Chang G. Validity of the CRAFFT substance abuse screening test among adolescent clinic patients. Arch Pediatr Adolesc Med 2002;156(6):607-14.
3. American Psychiatric Association. Diagnostic and Statistical Manual of Mental Disorders, fourth edition, text revision. Washington DC, American Psychiatric Association, 2000.